

スマピアメモリー



ピアからのおたより



だれ ちいき
～誰もが地域であたいまえに暮らせるように～

R7. 8月

vol.6

はっこうもと
発行元

しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人こころ



〒428-0007

しずおかけんしまだしま
静岡県島田市島581-4

TEL0547-46-5561

FAX0547-46-5566

デイケアやA型事業所
に入り、親友ができた。

幻聴、妄想にとらわれ、操られ
大荷物を持って、明け方に茶畑を
バイト先に向かって疾走した。

障害者手帳を呈示したら
冷たい目で見られた。
舌打ちされたことも…。

障害があることを知った近所の
人に、面と向かって罵られたり
距離を置かれたりした。

病気になって周りの世界がそれ
までとは全く違って見えるよう
になった。発病する前にかかわり
のあった2、3人の人物を強く恨
むようになった。



わたしたちの

いろいろな経験

大量服薬をして自殺未遂を何度
かしたけど、家族や仲間が心配し
てくれた。生きていて良かったと
思えた。

入院を経験して仲間たちの
色々な考え方や多様性が
あることを学んだ。

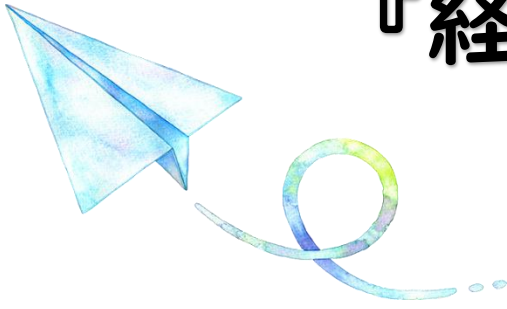
病気になってから今まで当
たり前にできていたことが
できなくなり、辛かった。

保健所デイケアで仲間に出会
い「自分だけではない」と思え
ホッとした。

病気になり、苦しい思いも沢山して、その
当時は「なんで自分ばかり」と悲観的だ
った。今はその経験があることが自分の
武器となり同じような悩みで苦しんでい
る人の支えになっている。

ひと けいけん つ かさ い
人はいろいろな経験を積み重ねて生きています。それは…。

けいけん ざいさん 『経験は財産』



これまでのいろいろな経験を通し、「経験は財産」と語るようになったピアスタッフ。しかし、最初から経験が財産になるとは思っていなかった。消してしまいたい経験だと思っていたこともある。発病する前に戻りたいと思っていたこともある。そのような思いがありながら、今自分たちの経験が“財産”と言えるようになったのはなぜだろうか…。



仲間と話すことで元気をもらえた。

相手が元気になったり笑顔になったりする。その姿を見て自分の気持ちも変わった。



腹を割って話せる仲間がいる。

なかま そんざい
仲間の存在



リカバリー志向になってきた。

ピアサポート



誰もが大切な存在だと思えるようになった。



色々な事や人との出会いがありその一つひとつが大切な財産になっている。

伝えることで自分は1人じゃないと思えた。



リカバリーストーリーを聴く方の真剣な眼差しやうなずきが、自分の人生は捨てたものではないと教えてくれた。

みなさんには、かけがえのない経験（ストーリー）、財産はありますか？

